

校訓「思いやり」

伊那市教育理念「はじめに子どもありき」

学校教育目標

やさしい子【情操】 かしい子【創造】 やりぬく子【意志】 元気な子【活力】

《本校の子ども》

- 【よさ】 ○素直で明るく元気
○学年を越えて遊ぶ
○学習に真面目に取り組む
- 【課題】 ○たくましく困難を乗り越える力

《保護者・地域の願い》

- 楽しく元気に学校へ通ってほしい
○確かな学力の定着
○一体感のある学級
○学年を越えた交流の充実
○手良への愛着をもち誇りに思っている

重 点

みんなと学ぶ

少人数を生かした個別最適な学び、協働的な学びの充実をはかり、予測困難な時代を生きていく基となる資質・能力を育てる。

- ◆協働的な学びを軸にした授業づくりを進めます。
 - ・教科の特性、教材の本質に迫る教材研究
 - ・対話を通じた授業の日常化
 - ・学習を助けるツールとしてのICT利活用
 - ・連学年体育
- ◆子どもの思いや願いを大事にした学習を展開します。
 - ・生活科・総合的な学習の時間を中心とした学級の中核活動
 - ・手良のひと・もの・こととつながる学習
- ◆発達段階に応じて、子ども主体の家庭学習へ転換を図ります。
 - ・教師がだす課題・自分にとって必要な学習(東部中の自学)
 - ・授業から自分がもっと追究してみたいと思う学習・自分の興味や関心を伸ばす学習
- ◆基礎基本の定着を図る個別最適な学びを大事にします。
 - ・A Iドリルを活用した定着・補充のための学習
 - ・1～3年M I Mを活用した読み書き支援

みんなが笑顔

自分と他者を大切にし、互いを認め合い、思い合える人間関係づくりを進め、一人ひとりの自己肯定感・有用感を高めます。

- ◆対話による児童理解とそれに基づく支援を充実させます。
 - ・一人ひとりの成長を伝える相談週間「ひとみウィーク」を学期ごとに実施
 - ・受容、共感、肯定に基づく教師の声かけ
 - ・児童理解を深める担任以外による道徳などの授業
 - ・Q Uを生かした学級作り
- ◆素早い情報共有と対応で児童・保護者に寄り添ったチーム支援を進めます。
 - ・定期的な支援会議の開催
 - ・外部機関との連携
- ◆縦割り(仙丈班)活動を充実させ、異学年の友との関係を深めます。
 - ・手良の自然に親しむ日
 - ・縦割り清掃 ・定期的な交流
- ◆自他を大切にできるよう道徳・人権同和教育を実践します。
- ◆心身の健全な成長を願って、健康教育を推進します。
 - ・楽しみながら心と体をリフレッシュするハピスマタイム
 - ・地域食材を使った給食
 - ・1学年給食試食会

みんなと一緒に

地域や家庭と協働した活動や保育園との交流を通して、ふるさと「手良」への愛着を深め、地域の一員としての意識を高めます。

- ◆手良保育園と連携し、保小の交流活動を行います。
 - ・「遊び」から「学び」への接続について保小で一貫した研究
 - ・つながりを深める手軽な交流
 - ・小学校への希望をもち不安を解消する年長児小学校1日体験
 - ・運動会・音楽会への招待
- ◆新山小との交流を進めます。
 - ・4年長野見学の合同実施
 - ・高学年の交流授業・活動
- ◆手良の子どもを守り育てる会による学校運営参画・協働活動・学校関係者評価を進めます。
 - ・学習支援ボランティアの拡充
 - ・トランペット鼓隊の指導
 - ・地域の方と楽しむクラブ活動
- ◆PTA・各種団体との連携した活動を行います。
 - ・登校・下校時パトロール
 - ・資源回収・手良地区講演会
 - ・親子ふれあいトンカチ教室
 - ・手良秋祭り・手良地区文化祭
 - ・全学年で和太鼓体験
- ◆子どもの様子や情報を発信し、開かれた学校作りを進めます。
 - ・学校HPや学級だより

《校長の願い》

友と 教師と 地域と 共につくる楽しい学校

- 思いやりの心を持ち、自他共によりよく生きようとする子どもが育つ学校
- 教師が自らを更新しながら、子どもと共に学ぶ学校
- 手良を愛する子どもたちの育成を願って、地域と共に歩む学校